

(第1回 宇和島市障害者計画・障害福祉計画検討委員会 資料8)
宇和島市障害福祉に関するアンケート調査文書回答

問3 お住まいの地区

松野町
松野町
松野町

問4 お住まい(生活の場)

妹宅
社宅

問5 同居者

いとこ
兄の家

問13 福祉に関する情報をどこから入手していますか

日本年金機構
ケアマネージャー
ケアマネージャー
ケアマネージャー
ハローワーク

問14 福祉のサービスを利用するときに何か困ったことがありましたか

就労支援を受けていたが、扱いが酷過ぎた
台風の時

問15 学校や幼稚園・保育園等での生活を送るうえで必要だと思ったこと、もしくは思っていること

子供がいない
自身の障害を知り、人との違いを知る

問16 障害や障害のある人に対する市民の理解を深めるために必要だと思うこと

3世代交流を軸とする
VRで体験

問17 日中の生活をどのように過ごしていますか

透析
農業
協会
野菜や米を作っている
趣味を楽しむ
グループホーム
資格を活かし、短時間労働
運動のため歩いている
作業所

問18 あなたが働く場合、どのような配慮を希望しますか

働けない
個人でマイペースに仕事をしたい
働けない
働く気がない
主婦
働けない
腕を動かすと熱が出る
薬を知ってもら

問20 あなたは今後、どのように暮らしたいですか

親なき後は施設に入所
東京で働きたい

家族をつくりたい
配偶者がほしい
今は分からない
職場で仕事内容や量の配慮があった。

問21 あなたが自宅など地域で生活することを考えたとき、どのような支援があればよいと思いますか

交通移動の確保
障害者年金増額

問22 日ごろの生活のなかで、障害がある人への配慮がなされている、または、なされていないと感じたことがありますか

人によって違う
一見、障がい者と分らなければ、配慮はない

問24 どのようなときにそれを感じましたか

近所に噂
内科の病院に行くと、馬鹿にされる
働ける場所がない

問25 配慮が感じられたこと

タクシー利用時、こちらからは何も言っていないのに手帳があるか聞いてくれて、割引料金で利用できた。

あけぼの園で母子一緒に療育を受けるため妹を一時保育に預けているが、そのことを伝え、保育園側が受け入れを配慮してくれているように感じる。

身体が不自由なことに気付いてくれると、ドアを開けてくれたり、道を譲ってくれたり等の心遣いをしてくれる。「頑張ってるね」と声をかけてくれることもあり、親子で励まされる。

事業所職員の優しい心遣いが嬉しい。

肢体不自由で松葉杖のため、配慮してもらっている。

職場の社長や上司が、常に体調を気にかけてくれる。退社時間も気を使ってもらって日常生活で偏見や疎外感を感じたことがなく、普通に暮らせることが配慮かな？と思いつ生活している。

聞き取りやすいように、座席の配置を考えてくれた。

市役所職員の対応が丁寧と感じられる。

人が会話をしている時に、「何を話しているのか？」と思う。説明がほしいが、手話や筆談は「気が引けるし、面倒だろうな」と考えてしまう。英会話などに通う人もいるが、手話も知ってもらい、多くの人と話したい。

普通であること

目が悪く、ルーペを提供してくれた。

・デパートの駐車場に、障害者専用の駐車場所がある。・吉田プールは半額で入れる。

ほとんどの公共施設では、障がい者トイレや手摺、エレベーター等が設置されていて助学校では職員に理解や配慮してもらい、他の子ども達と同じように対応してもらっている市役所職員は親切で丁寧に教えてくれる。

車椅子で坂が上がっている時、助けてもらった。

・道路へ出るとき、車が走っていたら声かけしてもらえる。

・車椅子を押してくれる。

・常に話しかけてもらえる。

・イベント時、一番近い場所に車を駐車できる。

精神科に通院していると、馬鹿にされ差別される。

・年金や手当等の経済的負担の軽減

・訪問看護等の利用

・自身が告白しない限り配慮はないが、身体障害者であることを伝え、徹助けが必要な場合は協力してくれる。

市役所職員は親切

飛行機で客室乗務員に「何かお手伝いすることはないか」と控えめに尋ねられた。

福祉課窓口のパート職員は、実に丁寧で感じが良い。正規職員は上から目線。

高額な手術費用の援助があったこと。術後のリハビリでの市営プール半額や温泉治療の入浴費割安が助かった。また買い物での駐車場の配慮も嬉しい。

職場で体調を気遣ってもらえる

医療費の支援や手続きの援助。年金支給、手帳による税金の軽減。文化活動における利用料の軽減。家族のサポート。
学校の先生が、丁寧に教えてくれる。
医療費の無料、バス代の半額
みんなよく話しかけてくれる
求める支援に対し、できる限り応えようと協力的な態度をみせてくれた
病院の治療費がかからないことに感謝している。
自民党から助けてもらってる感じ。
あまり不自由はなく過ごしてきたが、大人になり福祉サービスの事を知り、有難かった。
仕事の内容や量への配慮
保育園でのお友達は、男女分け隔てなく接してくれている。障害についての認識が不鮮明である点を鑑みても、笑顔で過ごしている。周囲の配慮や認識無しでは、十分な日常生活は難しい。
各種申請時、適切に手続きしてもらえた。

問25 配慮がされていない

幼稚園はオムツが外れていなければプールが利用できないと聞き、差別ではないかと思った。プールの時間は、我が子はどのように過ごしているのか心配である。その対応により、どうするか考えたい。
・駐車場でクラクションを鳴らし注意される。直接、障がい者だと伝えたと去っていく。・職場では「障がい者であること忘れていたのでは？」と思うような扱いで、重い物を持たせたり、一人に作業を押し付ける。他のスタッフは土曜・日曜は休ませ、私に働けという。病院で父親のことで一度騙され、二度目は自分の命が危なくなり、今は人間不信です。知人に、「事故？病気？」聞かれた。そっとしておいてほしいと話し、付き合いはやめた。
・近所に悪口や嘘を付く女性がいて、今は交流していない。
聴力に問題がある人もいるのに、みんなに聞こえるように話さない人がいる。口をハッキリあけて話してくれれば、聞き取りやすい。相手に伝えたいことがあるが、言い出せない性的マイノリティーに対する差別や偏見
普通であること
・近所で噂をされ、悪口を言われている気がする
・親兄弟も馬鹿にされる
障がい者は特別な目で見られ、「きちがい」「変態」など噂される。本人は何となく分かっている。
市の園児まつりで、体育館の床に傷が付くからと歩行器の使用を止められた。
市に相談したが無理だった
病気の事は、家族や親しい身内しか知らない。家族から、言わないように言われている。病気について、もっと理解してほしい。
公園でに行くと子ども達に馬鹿にされ、命令や悪戯される。
内部障害は見た目では分からないことがあり、辛い思いをすることがある。
鬱病を理解していない
役所で手続きの際、説明を受けるが分からない。
特に何もせず、無視した。
言ったところで変わらない。諦めている。「それはダメ」「それは出来ない」と、話の途中で断言される。
内部障害のため見た目には障害は分からないが、知られると周囲の目が変わり、腫れ物に触るような扱いをされる。
・障害があるのに結婚できたの？と言われた。
・特に何もしていない。するだけ無駄
相手は差別だとは思っていないのだろうが、「運転していない、できない」ことを不思議に思う人がいる。田舎なので車を所有しているのは当たり前で、それを前提に会話するのはおかしい。仕事をしているため、運転できた方がいいと話す人もいて、話が長くなりそうなので、最近は病名を相手に伝えることが多い。
障害者マークの駐車場に止めていいのかわからない。3級なので、車へのマークを付けてよいのかも不明で、遠くても他の場所に駐車している。以前、「若いのに」と言われ、手帳を見せるのも嫌で場所を変えた。
小中学校で、虐めに合い先生に相談した。
自分で着替えができず、プールの利用の際は手伝ってほしいと思う。母親が男の子の着替えをする場合、女子更衣室に連れて行くこともできず、プールに行くのを諦めた。
鬱病のため怒りの感情がコントロールできず、妻にも突き放されるのが辛い。

目が悪く、バスの金額が見えにくい

地域で生活するためには、反論ができない。差別的なことを言われても、他の人達は黙ったままで、誰も助けてくれない。特に学童期は、地域の子供会で嫌な思いをした。リーダー格の人が良い人ならばいいが、悪い人だと最悪だ。

会話に入れない

発達障害でそれに伴う二次障害で苦しむ子供に、学校は前向きに捉えてくれず登校を要求された。教育課程における単位数に縛られ、子供に今必要なやり方や方法が通りにくい。担任一人に任せる傾向があり、資料を作成して会議を開き、何のために支援を求めているのか伝えた。

自分自身が敵と思う人間達から、迫害を受けている。

中学入学時、「支援員さんの要望」の書類を提出したが、「市に予算がない」ということで、支援員が付かなかった。予算を決める市議会の人達は、自らの身内に障害者がいなければ無関心だと感じた。

職場で情報の行き違いがあった。コミュニケーションが上手くいかず、他から不満を言われた。障害者に対する理解は上司だけでなく、職場全体で理解してほしい。

期日前投票に障害者の団体で行った時のこと、どんなに思い障害があっても選挙権はある。最重度の子が投票しようとする、言葉が無いだの意思疎通ができないなどと言われ、嫌な思いをした。

問26 自由回答

・働ける場がもっとあればいい。・住居は、安く住める所の案内がほしい。

市によって、助成金に差があるのはおかしいと思う。

・療育やリハビリのために通院介助をお願いできたら助かる。あけぼの園に通園するために、他のサービスを利用できないのはでは困る。また園に送迎サービスができればいい。市に知り合いがいないため、そのようなサービスが充実すれば、介護しながら働きに出られる。

・市役所に相談に行ったが、一辺倒の対応しかしてもらえず、相談者のバックグラウンド親亡き後、さまざまな手続きや金銭管理等の相談できる人がほしい。正しい判断をし、助けてくれる人が必要です。

・現在利用しているプランが、65歳以降も使えることがベストである。

・タクシー利用券は、平成29年7月～平成30年3月、9000円、身体障害者4級でも適応してもらえれば嬉しく、討してほしい。

高齢者になって入所できる施設等がほしい。

障害者の組織に参加しているが、年々会員が減っている。増やせる方法があればよいが、個人情報等の関係により難しい。

人工透析は、市立病院でも夜間で行えるようにしたらどうか。

ペースメーカーを付けてしているが、いつ止まるか分からない時があり、急に止まればどうなるのか？

現在、特別支援学校に通っているが、卒業後の進路が不安。どこの事業所も定員がいっぱいで、支援員や職員、場所の不足と聞く。老人介護支援は著しく増えているが、障害のある子ども達のために、事業所の拡張と支援員育成の場を設けてほしい。

・障害福祉に係わる職員は、正しい知識を得てほしい。昔の考えを持っていたり、可哀そうな存在と思っていたり、障がい者を美化したり・・・。「先生」と呼ばれる方々の意識の向上を求めます。

・50歳代女性、どのサービスが受けられますか？1.地域定着支援と民生委員、どう違うか？2.孤独死3.力を貸してほしい。アンケートだけでは駄目。近所付き合いは大事で、声かけも積極的にし、毎日リハビリを兼ね歩いている。

・一人暮らしのため、災害時が心配。避難場所等が分かるパンフレット等の配布を望みます。

知的障害を持って生まれ、中学卒業後は仕事をしたが、人より安い賃金だった。障害年金があることは知らなかった。40歳代になり対象になると知り、受給手続きをした。福祉に関するサービスや制度について市民は知らないことが多い。役所側から情報を発信親兄弟もなく、入院するような事があった場合の保証人や、亡くなった後のことが心配で障害のある人が「どのようなこと」で困っていて、「どんな支援」を必要としているのか生の声を聞き、どのように接すればよいのか学ぶ場を設ける。

障害者も各自それぞれの考え方や生き方がある。障害者というだけでカテゴライズするのではなく、各自の個性を尊重してほしい。

地区の連絡事項など、優しい組長の場合はメモで知らせてくれる。何も知らない人は放送だけで、何も分らない時がある。健常者一人ひとりの意識が変わるように、啓発をして

就労支援事業所の扱いが酷過ぎる。内部調査があまい。

障害のある人に家族をつくる努力(施策)が重要だと感じる。出会いの場が必要であり、家族が増えることは理解者が増える。仕事として接するよりも、家族として関わることが大切ではないか。

目が悪い人の気持ちに気づいてほしい。

・ボランティアで弁当の配達があればいい。食べることに困っている。

・悩みがあった時、土・日曜日でも対応してもらえる所がほしい。

・一人暮らしのため、近所で皆が集まり、「食べたり飲んだり」「会話」したりできる場がほ
障がい者が高齢になった時、対応できる施設が多くあればよい。家族亡き後が不安。
更生医療と重度心身障害者医療費受給者証の書き換え手続きは、10年以上の手帳所
持者は、2~3年に1回にしてほしい。

月/65000円は生活が厳しい。値上げしてほしい。

歩道の整備が足りない。段差や幅など、利用しやすいようにしてほしい。

小学校の通常学級に通い、支援員に付いてもらっている。いつも「予算の関係で」と言われ、付いてもらえる時間が短い。他市では朝から夕方まで付いてもらえる所もある。「予算が・・・」と言われ、子どもの力を伸ばしてやれないのは悲しい。いい状態で通学できることが教育ではないか。

宇和島市は障がい者への理解が不十分だと思う。以前、職員とのやり取りで嫌な思いをした。職員はもっと勉強すべきで、理解を深めるべき。

・バリアフリーな街づくり(車椅子で外出できる、歩道の整備)

・多目的トイレの推奨。設置する店への助成金を検討。トイレの場所がわかるマップの作
言っても意味が無い。市の職員は「税金不足で」といつも言う。

もっと自由に動いてくれる人がほしい。

・いつも訪問看護を利用させてもらい、家族の話も聞いてもらえて助かっている。

・公共交通機関の割引があれば、助かる。市内くらいは、経済的負担軽減を願う。

・車がなくて通院に困っていたが、タクシー割引券配布があり、助かっている。

・他の病院の科を受診する際も、経済的負担軽減があればいい。

・短時間、働ける場があれば働きたい。

・同居の親が高齢のため、先が心配。経済的負担軽減と、サービスの充実を望む。

両親亡き後の生活が不安。親が高齢になった時、市より相談を持ちかけてくれる声かけ
や、訪問してもらえると助かる。

障がい者が集える場所。同じ障害の人達が悩みなどを話し合える場所があれば、参加
したい。

公共機関を利用する際、段差がありキツイく、昇降台を付けてほしい。

市内にグループホームがあればいい。緊急時に直ぐに利用できることが必要。

障害があっても、仕事への取り組みは可能。もっと就労の呼びかけが必要。「広報うわじ
ま」でも募集を見たことがない。

目に見えて分かる障がい者に対しては親切だが、健常者に見える場合は配慮がされな
障害者の住宅選びは段差などの問題があり、車椅子移動できる部屋がなかなか見付か
らない

障害者というものを武器にしている人がいて、感心できない

障害があるという事で引っ込み気味になり、また制限されることも多々ある。進んで何か
を行うことは難しく、他人に対する付き合い方に戸惑いを感じる。健常者と障害者が対等
な位置関係において物事を進めるには、まずは心のケアが必要。寄り添い合えることが
一番の道だと思います。一人ひとりが暖かく澄んだ心で見極めることが必要ではないか。

・交通に不便な場所に、移動手段が増えるとよい。移動手段があれば、地域に出ること
も多くなる。

・段差や道が悪く、転倒しやすい。

・相談に行きにくいため、このようなアンケートはよい。

障害が重く、一人で暮らすことはできない。親の病気や亡き後が心配。安心して暮らせ
る施設を希望する。

当事者の話をよく聞き、それに見合うような社会づくり

バスは半額だが、JRは定額。本数が少ないので、どちらも安くしてほしい。

・相手の立場になって考えられる人間が増えてほしい。親が差別をすれば、その子も親
と同じような人間になっていく。教育を受けても、その根性は治らない。

・短期入所施設の環境が悪い。老人ホーム並にしてほしい。死ぬまで外の景色が見えな
いような場所で、食事や排せつ、入浴だけの生活は人権無視の扱いだと思う。近所に気
軽に預けられる施設がほしい。

週に2回のデイサービスは、風呂だけを利用したい。1日中いるのは苦痛で、早く自宅に戻り休みたい。

「障害」という言葉で何もできない子だと思われ、壁を作られることも多い。出来ない事ばかりに目を向けず、出来ることに目を向ける取り組みをしてほしい。目ためには障害が分かりづらく、誤解され追い詰められることが多い。ライフステージや関わる機関が変わる度に支援の手が途切れ、情報が繋がらない。専門医や病院が少なく、成長するにつれ当てがなくなるのが現状。学校のトップによって、支援に差がある。障害についての正障害について、いろいろな取り組みはなされている。あらゆる人が暮らす日常の中で、思いやりや繋がり、支え合うことは当たり前で基本的なことであるが、住みやすさは程遠い。まずは行政の情報を分かりやすく公表し、仕組みを作してほしい。

年金だけでは生活が厳しく、老後が心配。

食料品は、単品で置いてくれると嬉しい。

みんなが助け合いながら暮らせばいい。

市役所の雇用枠が身体ばかり。気長にジョブコーチ等を利用して、発達障害者を雇用してほしい。市内に事業所がなく、市外通勤になった場合は、交通費の負担が大きく、働ける場所や事業所を増やしてほしい。

・身体障害者の夫と二人暮らし。国民年金だけの収入と私のパートでの収入。障害者がどの段階から手当てが保障されるのか、もう少し考えてほしい。

・国民年金で入所可能な施設を希望する。

・気軽に相談できる場所があればいい。

・膝の手術をしたが、足が良くなれば障害者でなくなるのか？

・災害での障害者に対する施策や取り組みを先に考えてほしい。

・災害避難所での差別化を無くすべきで、無理のない避難所にしてほしい。

障害者の税金軽減

B型作業所に勤務しているが、職場で障害に対しての偏見や差別を感じた。以前、コミュニケーションが上手く取れず退職をしたことがある。自身の力不足もあるが、障害者の就職制度を利用して就職をしたのに、心ない言葉をかけられた。職場における障害者への理解は、全体で取り組む問題だと思う。

公共施設について、図書館の利用は一人では難しい。今後、一人で入館することがあれば、親として不安を感じる。トラブルや問題毎発生した際、周囲の理解と配慮を求める以上に、施設自体に利用可能な環境を整えてほしい。

今後のことを思うと不安。障害者が利用できる体操教室等、広報で分かればと思う。障害者の人たちと交流したい。

コミュニティバスは高齢者を主な対象としているため、車椅子でも乗車できるようにして足が悪く、避難所に行けない。

・商店は段差が多く、転倒することがある。

・外見では障害は分かりにくく、職場では怠慢と思われ退職した。第三者の立場から見てコミュニケーション能力があるのか、どのように話せば伝わるのかアドバイスしてもらえるような相談の場を設けてほしい。

障害者用駐車場に一般の車が停まっていることが多く、考えてほしい。

地域で障害者が暮らしていくことは、施設に入所しない限り親が責任を持つことである。歳を取るごとに、大変さを感じている。宇和島市にはグループホームがない。通所の作業所でグループホームがほしいと願えば、市は率先して協力してくれるのか？

もう少し年金や支援金がほしい。

働くことができないため、経済的なサポートがほしい。

・就労支援事業所のA型・B型が分かりにくい。仕事の内容などを写真で見ることができるといい。

・ハローワークだけでなく、市役所等でも就職先の相談ができるといい。障害を持つ者には一般の人とは別の場所に対応してほしい。